

スポーツの秋！



第15回

初秋の自然を満喫！

高龍寺登山まつり

高龍寺ヶ岳に百六十七人が登頂

十月七日、十五回目を迎えた恒例の『高龍寺登山まつり』を尉ヶ畑区と協力して実施しました。

この事業は、ふるさと登山交流大会事業として毎年実施しているもので、今回は、例年にない好天に恵まれ、遠くは京田辺市をはじめ、京丹後市内や兵庫県などの近隣の市町より、三歳の子どもから八十一歳の高齢者までの百六十七人が参加、六百九十七メートルの山頂をめざしながら、初秋の高龍寺ヶ岳の自然を満喫しました。そして、頂上からいっせいにメッセージ風船を上げると、青一色の空は、多彩な色どりへと変わっていききました。

また、あじさい公園では、地元尉ヶ畑区



館報くみはま

第 4 号
19.11.25発行
TEL69-0666
FAX82-1795



～参加者からの声～

☆登山により自分の健康状態を確認できた。明日から、健康な人生が始まる思いです。

☆登山道の整備（一部舗装）がされていた。地元の努力に感謝している。

☆よい天候に恵まれ大変よかった。

各種団体による郷土色豊かな交流バザー、そして、朝日公園では、「権現さん祭り」として、奉納子ども相撲大会や餅まきなど多彩なイベントが催され、府県を越えた広域的な交流の場となりました。

風船は愛知県へ

当日、山頂から飛ばした風船は、遠く離れた愛知県一宮市へ着いていました。

九十歳の女性の方から、割れた風船とともに拾ったメッセージが届きました。

「90歳頑張っています。お守りください。」

くみはまの秋の自然を満喫～

親と子のふるさと教室

～芋掘りと秋の自然アートに挑戦！

さつま芋掘りを体験

十月二十一日に、第3回親と子のふるさと教室を開催しました。

秋晴れの中、十五家族・四十六名が参加。

今回は、『秋の自然を満喫する』をテーマに、永留国営

農地でさつま芋掘りを体験しました。

長く続く畑の畝いっばいに並び芋掘りを開始。掘り進むごとに次々と大きな芋が姿を現し、畑の中は大きな歓声で賑わっていました。

収穫した採りたてのさつま芋は、ウッドヘキサで焼き芋にして食べました。

秋の木の実で壁掛けづくり

芋掘り体験のあとは、ウッドヘキサの工房で、どんぐりやまつぼっくりなどの木の实を使って壁掛けづくりをしました。



麻布にどんぐりやポプリ、木の枝などをボンドで貼り付け、重いまつぼっくりなどは細い針金を使って付けました。

親子で相談しながらの協同作業により、十五家族・十五種類、色々なアイデア作品が出来上がりました。



青少年育成地域のつどい

地区別映画会を開催

『P』の勇氣に感動！

十月八日から、各地区センター八会場で、青少年育成「地域のつどい」を実施しました。今回は、アニメ映画『P』とベないホテル』の上映を通して、

思いやりの心について考えてもらおうと実施したもので、それぞれの地区に百八十六人が参加。秋の夜のひと時を楽しんでいただきました。



「いじめ」ってだめだなあと思った。感動しました。とてもいいお話でした。（小学生）

がんばってます！～古典文学講座

九月二十七日から十二月六日まで六回の予定で古典文学講座を実施しています。

今回は、事前に申し込まれた二十一人が受講。講師には岡田洋三氏を迎えて、「祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響きあり・・・」でおなじみの、古典文学の代表作「平家物語」を勉強しています。

参加者は、学生時代を彷彿させるように、熱心に受講されています。



久美浜町文化祭



～久美浜小学校で開催



久美浜町文化祭は、十一月三日・四日の二日間に行われ、久美浜小学校体育館で開催しました。文化祭初日は、天候にも恵まれて多くの来場者があり、二日間で千三百七人となりました。会場では、児童・生徒



の作品展や一般公募の作品を展示。また、今年から別の会場へ展示していた文化協会の作品展も会場一杯に展示され、来場者は、子供から大人までの多彩な展覧作品に見入っていました。



＝囲碁大会＝

11月4日に、農業センターで囲碁大会が開催されました。

当日の参加者は、42人で、一番一番に熱が入り、会場内は熱気に包まれていました。



＝短歌会＝

11月15日に、農業センターで短歌会が開催されました。

当日は19人が参加。先生を囲み、一句一句熱心に意見交換をされていました。



茶道裏千家お茶会を開催

十一月三日に、豪商稲葉本家松舎でお茶会がありました。

当日は、二百六十人余りの来場。一席一席で「待ち」が出るほどの盛況ぶりでした。

箏曲演奏会を開催

十一月三日に、豪商稲葉本家松舎で箏曲演奏会がありました。

当日は、三十七人が来場し、箏曲の奏でる音色をバックに優雅な時間を過ごすことができました。



10月28日

文化祭合同公演を開催

二百五十二人が来場

久美浜町文化祭の合同公演は、十月二十八日（日）に、久美浜小学校体育館で開催しました。当日は、二百五十二人の来場者があり、午後五時三十分の開演時から、用意した椅子がすでに満席！会場内は立ち見が出るほど熱気にあふれていました。オープニングは、よさこい踊りで賑やかにスタート。

その後は、文化協会加入団体による、踊り歌謡曲・太極拳・大正琴・謡曲など次々と発表が繰り広げられていきました。

客席の中には、曲に合わせて口ずさむ人、かけ声をかける人などステージと客席とが一体となって、盛り上がる場面もありました。



フィナーレは、社交ダンスサークルの華やかなダンスで終了しました。



お知らせ

合同公演の会場で、座布団2組の忘れ物がありました。また、展示会場でも、タオル・帽子・子供の靴・紳士革靴の忘れ物がありました。久美浜地域公民館で預かっていますので、お問合せください。

☎ 六九一〇六六六

健康講演会を

十一月二日には、豪商稲葉本家松舎で、京丹後市教育委員会文化財保護課の小山元孝氏を講師として『再発見！久美浜の仏像・市史編さんの調査から』と題した歴史講演会が行われました。当日の来場者は三十一人。講演では、額きながら興味深く聞き入る参加者の姿が印象的でした。

